

鉄炮鍛冶屋敷が開館します

－ 全国で唯一のこる江戸時代の鉄炮鍛冶の「本物のものづくり空間」－

堺市では、令和 5 年 9 月 28 日付報道提供資料でご案内したとおり、令和 6 年 3 月 3 日（日）に鉄炮鍛冶屋敷（町家歴史館井上関右衛門家住宅）を開館します。

国内で唯一残る江戸時代の鉄炮鍛冶屋敷であり、日本の鉄炮生産の歴史を書きかえた 2 万点を超える古文書等の資料をはじめとした貴重な文化財を後世に継承・活用し、堺の類いまれな歴史を形づくる「鉄のものづくり」のストーリーの中核を成す施設として、市内外問わず多くの方々にご来館いただき、堺の魅力を発信します。



1 開館日時

令和 6 年 3 月 3 日（日）午後 1 時

2 開館時間

午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

※3 月 4 日（月）以降の標準開館時間

3 場所

鉄炮鍛冶屋敷（堺市堺区北旅籠町西 1 丁 3-22）

【アクセス】阪堺電気軌道阪堺線「高須神社」停留場より西へ約 300 メートル

南海本線「七道（しちどう）」駅より東へ約 300 メートル

4 入館料

一般 500 円・20 人以上の団体料金 400 円

※中学生以下の方、堺市の区域内に住所を有する 65 歳以上の方、障害のある方とその介助の方は無料（要証明書）。

※町家歴史館山口家住宅・清学院との共通入館券あり。

5 施設概要

みどころ①：「仕上場」「みせの間」「鍛冶場」の 3 つのコンセプトで「本物のものづくり空間」を体感

鉄炮鍛冶屋敷には、通常の町家とは異なる独自の空間があります。部品を組み立てて鉄炮を完成させる「仕上場」、鉄炮の取引など商談を行っていた「みせの間」、鉄を鍛えて銃身を造る「鍛冶場」の 3 か所です。

仕上場では、大型展示ケースによる火縄銃の分解展示と分業の解説で、鉄炮製造に関連する職人が集住していた環濠北部エリアが「江戸時代の工場団地」であったことを実感できます。

みせの間では、鉄炮ビジネスの全貌がわかる実物資料を展示します。鉄炮取引を体感できるフォトゾーンもあります。

資料を参考に新築された鍛冶場は、江戸時代の鍛冶場を再現しています。大型展示ケース内の解説と銃身製造を再現した CG 動画で、失われた鉄炮鍛冶の技術に迫ります。みんなで楽しめる鍛冶コンテンツ「あなたも鉄炮鍛冶！」では、鉄炮鍛冶の親方の指示に従って、火力を調整するための送風装置である「フイゴ」などの道具を操り、一人前の鍛冶職人をめざす体験ができます。



「仕上場」の火縄銃の分解展示



「みせの間」の帳場の再現展示



「鍛冶場」の再現展示



鍛冶コンテンツ「あなたも鉄炮鍛冶！」

みどころ②：お楽しみ要素盛りだくさんの町家歴史館

仕上場の一部は、入場無料で楽しみいただけます。入場無料ゾーンには、井上関右衛門が語る映像「堺鉄炮話譚（さかいてっぽうわたん）」を見ることができるプロローグシアターや、鉄炮にちなんだ様々なオリジナルグッズをご購入いただけるミュージアムグッズコーナーを併設しています。

また、JR 西日本主催ちよこつと関西歴史たび「古墳と伝統産業のまち－ええとこ堺！ はじまりめぐり。－」や、堺観光コンベンション協会主催「紐とけば堺 2024～古墳時代から繋がる鉄加工の歴史～」などと連動して、令和 6 年 3 月 23 日（土）・24 日（日）に、町家茶会、鉄炮鍛冶屋敷スペシャルガイドツアー、銃身磨き見学会などのイベントを開催します。

なお、鉄炮鍛冶屋敷の開館にあわせて、町家歴史館山口家住宅・清学院も同日にリニューアルオープンします。同日が桃の節句であることに関連し、町家歴史館 3 館でひな飾りの展示も行います。



ミュージアムグッズの例（左から、「鉄炮図面」紙製クリアファイル、オリジナル缶バッジ、「鉄炮鍛冶仲間」ステッカー。画像は試作段階のため、実物と異なる場合があります。）

6 その他

町家歴史館のホームページを新たに開設しました。イベントなどの最新情報はこちらをご覧ください。

<https://www.sakai-machiyamuseums.com/>

問い合わせ先	(展示内容に関すること)
	担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課 電 話：072-228-7198 ファックス：072-228-7228
	(施設、グッズ、イベントに関すること)
	担 当：指定管理者 株式会社パソナジョイナス 電 話：072-224-1155